

駆除されたゴキブリを供養する鎮魂碑



土曜 博物館

ゴキブリに宿る魂を祀る

供養碑

県内には、生き物の供養碑が多くあります。かつて軍需品として毛皮が必要とされた兎のための「軍兎霊塔」、生まれ故郷の川に戻り豊かな恵みをもたらす鮭の「鮭供養碑」、江戸時代に両石村(現・釜石市)の年中行事であったトド漁のため建てられた「トド供養碑」などがあります。

県内には、生き物の供養碑が多くあります。かつて軍需品として毛皮が必要とされた兎のための「軍兎霊塔」、生まれ故郷の川に戻り豊かな恵みをもたらす鮭の「鮭供養碑」、江戸時代に両石村(現・釜石市)の年中行事であったトド漁のため建てられた「トド供養碑」などがあります。

県内には、生き物の供養碑が多くあります。かつて軍需品として毛皮が必要とされた兎のための「軍兎霊塔」、生まれ故郷の川に戻り豊かな恵みをもたらす鮭の「鮭供養碑」、江戸時代に両石村(現・釜石市)の年中行事であったトド漁のため建てられた「トド供養碑」などがあります。

県内には、生き物の供養碑が多くあります。かつて軍需品として毛皮が必要とされた兎のための「軍兎霊塔」、生まれ故郷の川に戻り豊かな恵みをもたらす鮭の「鮭供養碑」、江戸時代に両石村(現・釜石市)の年中行事であったトド漁のため建てられた「トド供養碑」などがあります。

らゴキブリに崇^ためられないのかと質問を多く受けて設置。毎年6月4日に、同じ駆除対象のネズミやナメクジの霊とともに供養祭を行い、社員たちは昼食にウナギを食べて腹の虫も慰めるそうです。なぜ、このような生き物供養碑が建てられるのでしょうか。背景には、命を粗末に扱って災いが及ぶことがないようにと、鎮魂儀礼の意味や、それを祀ることによって得られる現世的利益(大漁や増産など)を期待するもの、生活の糧となる命への感謝、畏敬の念などが挙げられます。碑を調べているうちに、種類の多さと碑に込められた思いの深さに感嘆しました。

(県立博物館専門学芸員 近藤良子)